

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公表番号】特表2019-531984(P2019-531984A)

【公表日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-045

【出願番号】特願2019-518053(P2019-518053)

【国際特許分類】

B 6 5 D 47/34 (2006.01)

B 0 5 B 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 47/34 1 0 0

B 0 5 B 11/00 1 0 2 J

B 0 5 B 11/00 1 0 2 E

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月6日(2020.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流体タンクから流体を放出するための、改良したポンプディスペンサーであって、次の構成および条件を備えることを特徴とする、ポンプディスペンサー。

- ・第1および第2の円筒形の端の間に伸びるポンプ本体。
- ・前記ポンプ本体の前記第1の端にあるポンプ本体オリフィス。
- ・前記ポンプ本体にスライド可能に設けたピストン。
- ・前記流体タンクに関して前記ポンプ本体を支持するベース。
- ・第1の部分と第2の部分との間に伸びるトリガー。
- ・前記ベースに関して前記トリガーを旋回可能に取り付けるベースピボット。
- ・前記トリガーの前記第1の部分に定まる第1および第2のカム。
- ・前記ポンプ本体の向かい合う側を跨ぐ、U形状のリンクエージであり、前記ピストンにかかわり合うリンクエージ。
- ・前記U形状のリンクエージの第1および第2の末端にある第1および第2のカムフォロアーであり、前記トリガーの前記第1の部分に定まる第1および第2のカムと結合する。
- ・前記第1のカムフォロアーは、第1の下部カムフォロアーと、第1の上部カムフォロアートを備える。
- ・前記第2のカムフォロアーは、第2の下部カムフォロアーと、第2の上部カムフォロアートを備える。
- ・前記第1の下部カムフォロアーおよび前記第1の上部カムフォロアーは、前記第1のカムに対して、作動しないトリガー状態と一杯に押し下げたトリガー状態との間で異なる配置であり、それにより、前記トリガーの前記第2の部分の旋回運動を可能にし、前記ピストンを直線的に動かし、前記ポンプ本体オリフィスから流体を噴霧する。
- ・前記第2の下部カムフォロアーおよび前記第2の上部カムフォロアーは、前記第2のカムに対して、作動しないトリガー状態と一杯に押し下げたトリガー状態との間で異なる配置であり、それにより、前記トリガーの前記第2の部分の旋回運動を可能にし、前記ピストンを直線的に動かし、前記ポンプ本体オリフィスから流体を噴霧する。

**【請求項 2】**

前記第1および第2のカムフォロアーのそれぞれは、複数のカムフォロアー突起を含む、請求項1のポンプディスペンサー。

**【請求項 3】**

前記ポンプ本体の向かい合う両側に、第1および第2の直線スロットがあり、前記第1および第2の直線スロットに、前記U形状のリンクエージがスライド可能に設けられる、請求項1のポンプディスペンサー。

**【請求項 4】**

前記U形状のリンクエージの間に伸びる付属物結合部材をさらに含み、それにより、前記トリガーの作動のとき、前記U形状のリンクエージの直線動を助ける、請求項1のポンプディスペンサー。

**【請求項 5】**

前記第1のカムフォロアー、前記第2のカムフォロアー、および前記付属物結合部材によって定まる結合部材溝をさらに含み、しかも、その結合部材溝は、前記ポンプ本体を取り囲む配置であり、それにより、前記ポンプ本体に対する前記U形状のリンクエージの直線動をさらに助ける、請求項4のポンプディスペンサー。

**【請求項 6】**

次の構成および条件をさらに備えることを特徴とする、請求項1のポンプディスペンサー。

- ・前記U形状のリンクエージに結合し、前記ポンプ本体に向かって伸びる、上部ガイドリブ。
- ・前記U形状のリンクエージに結合し、前記ポンプ本体に向かって伸びる、下部ガイドリブ。
- ・前記上部ガイドリブおよび下部ガイドリブは、前記ポンプ本体に対する前記U形状のリンクエージの直線動を助けることにより、前記U形状のリンクエージが前記ポンプ本体に対して動かなくなることを防ぐ。

**【請求項 7】**

流体タンクから流体を放出するための、改良したポンプディスペンサーであって、次の構成および条件を備えることを特徴とする、ポンプディスペンサー。

- ・第1および第2の円筒形の端の間に伸びるポンプ本体。
- ・前記ポンプ本体の前記第1の端にあるポンプ本体オリフィス。
- ・前記ポンプ本体にスライド可能に設けたピストン。
- ・前記流体タンクに関して前記ポンプ本体を支持するベース。
- ・第1の部分と第2の部分との間に伸びるトリガー。
- ・前記ベースに関して前記トリガーを旋回可能に取り付けるベーススピット。
- ・前記トリガーの前記第1の部分に定まる第1および第2のカム。
- ・前記ピストンにかかわり合うリンクエージ。
- ・前記U形状のリンクエージにある第1および第2のカムフォロアーであり、前記トリガーの前記第1の部分に定まる第1および第2のカムと結合する。
- ・前記第1のカムフォロアーは、第1の下部カムフォロアーと、第1の上部カムフォロアーとを備える。
- ・前記第2のカムフォロアーは、第2の下部カムフォロアーと、第2の上部カムフォロアーとを備える。
- ・前記第1の下部カムフォロアーおよび前記第1の上部カムフォロアーは、前記第1のカムに対して、作動しないトリガー状態と一杯に押し下げたトリガー状態との間で異なる配置であり、それにより、前記トリガーの前記第2の部分の旋回運動を可能にし、前記ピストンを直線的に動かし、前記ポンプ本体オリフィスから流体を噴霧する。
- ・前記第2の下部カムフォロアーおよび前記第2の上部カムフォロアーは、前記第2のカムに対して、作動しないトリガー状態と一杯に押し下げたトリガー状態との間で異なる配置であり、それにより、前記トリガーの前記第2の部分の旋回運動を可能にし、前記ピス

トンを直線的に動かし、前記ポンプ本体オリフィスから流体を噴霧する。

【請求項 8】

前記U形状のリンクエージの間に伸びる付属物結合部材をさらに含み、それにより、前記トリガーの作動のとき、前記U形状のリンクエージの直線動を助ける、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 9】

前記第1のカムフォロアー、前記第2のカムフォロアー、および前記付属物結合部材によって定まる結合部材溝をさらに含み、しかも、その結合部材溝は、前記ポンプ本体を取り囲む配置であり、それにより、前記ポンプ本体に対する前記U形状のリンクエージの直線動をさらに助ける、請求項8のポンプディスペンサー。

【請求項 10】

次の構成および条件をさらに備えることを特徴とする、請求項7のポンプディスペンサー。

- ・前記リンクエージに結合し、前記ポンプ本体に向かって伸びる、上部ガイドリブ。
- ・前記リンクエージに結合し、前記ポンプ本体に向かって伸びる、下部ガイドリブ。
- ・前記上部ガイドリブおよび下部ガイドリブは、前記ポンプ本体に対する前記リンクエージの直線動を助けることにより、前記リンクエージが前記ポンプ本体に対して動かなくなることを防ぐ。

【請求項 11】

前記ポンプ本体を前記ベースに結合するベースコネクタは、変形を伴う結合によって前記ポンプ本体を前記ベースに結合し、それによって、組立てを簡単にすること、および/またはポンプディスペンサーの外観を変えること、を可能にする、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 12】

前記ポンプ本体を前記ベースに結合するベースコネクタは、変形を伴う結合によって前記ポンプ本体を前記ベースに結合し、それによって、ノズルデザインを複合化し、ポンプディスペンサーの噴霧特性を変えることができる、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 13】

前記ポンプ本体を前記ベースに結合するベースコネクタは、変形を伴う結合によって前記ポンプ本体を前記ベースに結合し、それによって、トリガー要素を複合化し、ポンプディスペンサーの外観、作動力および使い勝手を変えることができる、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 14】

前記ピストンに対し仕事をしない位置に向かう力を与えるリターンスプリングを含み、前記トリガーは旋回し、前記リターンスプリングの力に抗して前記ピストンを動かし、前記ポンプ本体オリフィスから流体を噴霧する、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 15】

前記ポンプ本体を前記ベースに結合するベースコネクタは、前記ポンプ本体を前記ベースに固定し、異なるポンプ本体の取替えを可能とした、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 16】

前記ポンプ本体を覆うフードを含み、ポンプディスペンサーの外観を変えることができる、請求項7のポンプディスペンサー。

【請求項 17】

前記ベースから伸びるアームを含み、前記ベースピボットは、そのアームに支持され、前記トリガーを旋回する、請求項7のポンプディスペンサー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

ポンプ本体30の第1の端31は、閉じた端であるのに対し、ポンプ本体30の第2の端32は開いている。ポンプ本体30の閉じた第1の端には、ポンプ本体オリフィス34がある。図3および図33に示すように、ノズルチェック弁100が、ポンプ本体オリフィス34に結合され、ポンプ本体30の中への空気戻りを防ぐ。側壁33にはスロット35があり、第2の端32から伸びている。この例において、ポンプ本体30の対向する側にあるものは、第1および第2の直線的なスロット35Aおよび35Bである。